

事務連絡  
令和4年12月26日

都道府県薬剤師会  
担当事務局御中

日本薬剤師会  
医薬・保険課

年末年始に向けた抗原検査キット販売体制の充実に係る事例等について  
(情報提供・その2)

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

抗原定性検査キットのさらなる販売体制の充実に関する協力依頼及び薬局や薬剤師会から地域住民に向けて、よりわかりやすい方法で周知・発信していくことを早急に検討・対応していただくための意見交換については、年末のご多忙の中多くの都道府県薬剤師会のご参加を賜りましたこと厚く御礼申し上げます(令和4年12月9日付け日薬業発第332号、同333号)。

意見交換会の内容を整理いたしましたので別添のとおり情報提供いたします。

複数の都道府県薬剤師会より、意見交換会後早急に対応を図り、体制整備や情報発信を行った、行政と連携した情報発信を行った結果、リストを見ての来局に繋がった方が増えた、等のご報告をいただいております。

年末まで日数のないところではございますが、各都道府県薬剤師会におかれましても、別添を参考に地域薬剤師会等を含めた早急な取り組みにつき、重ねてお願い申し上げます。

令和4年12月16日作成（12月26日更新）

### 年末年始に向けた抗原定性検査キットの販売体制の確保・充実（メモ）

- 年末年始に向けて、夜間休日等（※一般的な生活時間帯を想定）を含む抗原定性検査キットの販売体制の確保・充実について、早急にご対応いただきたい。
- 実施にあたっては、都道府県や市区町村の各自治体とも連携を図ることが重要。
- 販売薬局・店舗のリスト作成のみならず、地域住民が容易に目にできるような情報発信が必要。

※ 以下、意見交換の中で寄せられた主な事例。

※ 各都道府県薬剤師会におかれましては、これら取組事例等も参考に、各地域で必要な対応を早急に講じていただきますようお願いいたします。

#### 具体的事例、アイデアなど

##### <体制整備>

##### ○ 年末年始を含む、休日当番薬局における抗原定性検査キットの販売

※主に処方箋応需体制として地域で構築している休日や夜間の輪番制で開局している薬局において、抗原定性検査キットの販売を行うこと及びその周知（ただし、一般の方々は休日当番薬局の存在を知らないことが多いので、地域広報なども併せて活用することが重要）

##### ○ 販売薬局での当番開局制を構築（検査キット販売薬局の中で、年末年始期間に開局可能な薬局を募り、地域においてリスト化・周知）

##### <リスト作成・資材作成の工夫>

##### ○ エリアごとのきめ細かなリスト・マップの作成・周知（単に厚生労働省のマップや都道府県のマップをリンクさせるよりも、地域だけに整理したマップ・リストが重要）

##### ○ 検査キットのみならず、OTC解熱鎮痛薬の販売情報をリストに掲載

##### ○ 地域で作成した広報資材（販売薬局リスト情報（QRコード等）を追加する等）の作成・地域の薬局での掲示（例：「当薬局で販売しています」「あらかじめ購入しておきましょう」等への情報追加）

### <周知先・周知方法の工夫>

- ネット活用だけではない情報発信の工夫（高齢者が多い地域では、ネットを活用した情報だけでは不十分）
- 広報誌（紙）を利用した、対応薬局に関する周知（休日当番薬局に関する情報掲載だけでなく、検査キット販売に関する情報も掲載）
- 薬局やドラッグストアでの、対応薬局リストの掲示や閲覧（対応薬局以外の店舗でも確認し、案内できることが重要。また、薬局において夜間対応ができない場合にも、開局している薬局を案内するもしくは翌営業日の来局を促す）
- ケーブルテレビ等の活用（ローカル性の高いメディアの活用）
- ホテルと連携した、宿泊客への対応薬局に関する情報提供（特に、観光客が多い地域の駅や観光案内所も含む）
- 行政と連携した広報・SNS等の活用（県や市町村の広報LINEやTwitter等で、検査キットの事前購入や休日当番薬局での検査キット取扱いについても周知する等）
- 地域の医師会や地域包括支援センターなどへのリスト共有（医師から患者・相談者への案内に活用いただく等）
- 学校・教育委員会との連携（保護者への連絡網（メール、SNS等）を活用した周知。冬期休暇への備えとして等）
- 町内会や商工会など、地域の生活者に近い団体への情報提供

### <相談対応方法の取組など>

- 既に症状のある検査キット購入希望者には、購入の求めがあった場合には、感染対策等または工夫を講じた上で、販売対応を行う。
- 24時間対応が可能な薬局に販売薬局リストを周知し、相談に対して地域で購入できる薬局を案内できるようにする
- 深夜等の相談に対しては、検査キットの原理の説明や、翌日購入できるよう確保しておく旨を案内する等で相談者に安心いただくことができた。「どうすればよいか」に対応し不安解消につなげることも薬局の重要な役割。
- 特に薬局少数地域において、薬局から地域住民へあらかじめの購入呼びかけを強化している。解熱鎮痛薬や冷却シート等の販売も強化し、キットとあわせての備蓄を呼びかけている。

### <その他の取組>

- 行政が行う無償配布事業において、受取先として薬局が選べるようになっており、追加で必要な方には販売できる体制をとっている。リストは行政から広報されており、薬局での使用方法の説明、陽性になった場合の登録方法等の案内を行っている。
- 都道府県の無料検査事業の実施薬局の広報とあわせて販売薬局リストを広報している。